

《地域環境リーダーになって》

堀田あや子

川崎市環境局環境調整課が主催する「地域環境リーダー育成講座」との出会いは図書館のちらしでした。何気なく目にした募集案内の内容に驚いたのを記憶しています。「川崎市が環境ボランティアを育成」「講座開設」「無料」なんとも魅力的な案内が並んでいます。丁度ボランティア活動を何かしてみたい、環境問題ならなお良いと思っていた矢先、夫と共に7期生に、後に聞きましたが講座初の夫婦で、参加することにしました。

《グループ発足》

講座内で問題意識の似通った人たちが集まりいくつかのグループを作っていきます。その中で私は「4R推進活動グループ」の結成に加わりました。コンセプトは4R、すなわち「Refuse(拒絶)・Reduce(削減)・Reuse(再使用)・Recycle(再利用)」の4つの『R』の頭文字のキーワードを使って誰でも簡単に始められるECO実践活動のヒントをいろいろな形で地域の人たちに伝えることです。そして自分たちの活動指針を決めるとき、大事なポリシーが生まれました。それは「楽しく広めよう。」というものです。環境問題は今どきは誰でも耳にしたことがあり、大事なことはわかっている、でも面倒くさそう、何からやればいいのかわからない、といった人が世の中にたくさんいるのではないかとこの予想が前提にありました。つまり日頃行動していない人たちこそがふ、と何かを始められるきっかけになればとECO活動のイメージを変えようということになったのです。楽しいことは誰でも取り組みたくなるもの、そうだ、「楽しく広めよう」そして「イベント形式を取ろう」ということになりました。

《イベント決定！》

このような訳でイベント場所の決め手はどれだけ効果的にたくさんの人に楽しく伝えることができるか、という点でした。そこで「スーパーマーケット」が浮かびました。スーパーはまさに環境問題を考える時に避けて通れない私たち消費社会の「現場」です。人も無条件に大勢集まりますし買い物は楽しく、イベントがなじみます。最終的にイオン系スーパーのMAXVALU津田山店とのタイアップが決定し、年に3〜4回継続的にECOイベントを開催することとなったのです。今年度は「マイバッグ」にスポットを当て、バッグの人気投票やアンケートを通じマイバッグがなぜ環境に優しいか、どんなデザインがあるか、どこに行けば手にはいるか、などの知識を広めるお手伝いをさせていただいています。

《4Rの魅力》

「4R」は実は魔法の言葉です。過剰包装のような地球に優しくないサービスをお断りすることは拒絶/Refuse、ゴミの出ない詰め替え用の洗剤を買う、電気をこまめに消すなどは削減/Reduce、マイ箸を使う、瓶ビールを選ぶ、などは再使用=Reuse、アルミ缶、ペットボトル分別はもちろん、再生紙を使ってみることはRecycleとなります。このように4Rをヒントに日々の暮らしの中で自分たちが地球のためにできる簡単なことがたくさん発見できます。合い言葉は「4R」。「4つのRが地球を救う」。

《地域環境リーダーを経験して》

環境リーダーを通してたくさんの人たちと交流できたことは私の大きな糧となりました。特に歴代のリーダーの方々が広いフィールドで活動されていることは励みとなります。また環境問題は科学技術に合わせて対策も日進月歩ですから常に情報が必要です。その大事な情報源の一つともなっています。他方日常ではなかなか機会のない世代間交流も魅力の一つだと思います。異世代と交流することがより多角的に問題を解決へと導く智慧を授けてくれます。フィールドと人脈の拡がりはECO精神の拡がりでもあります。川崎から発進したリーダーの活躍がやがて文化の礎となることを期待してやみません。

